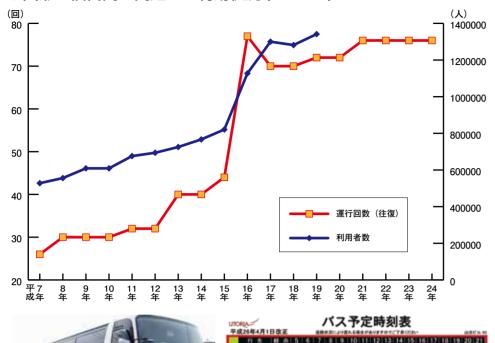
◆山形〜仙台間の高速バス利用状況〈グラフ1〉



△バス時刻表

◆山形と仙台の交通路〈地図1〉



山形と仙台の交通路略年表

江戸 ……… 荷物の運搬は人か馬の背

道の傾斜より距離の短い二口峠を利用

明治15年 …… 関山トンネル開通(長さ287m)

馬車が走り距離より高度の低い関山・笹谷街

道を利用

明治20年 …… 仙台まで東北本線開通

山形の最上川舟運が衰え、峠交通が盛ん

明治25~32年… 符谷街道大改修

明治34年 …… 山形まで奥羽本線開通

峠交通が衰える

大正10年頃 …… トラック輸送が始まり、笹谷・関山峠を利用

昭和12年 …… 仙台線開通 (面白山トンネル5.361m)

昭和43年トラック輸送が盛んになり関山街道

にぎわう

この頃、山形・仙台間のバスは関山街道利用 米沢の栗子トンネル開通前の冬季は東日本と

通じる唯一の道

昭和56年 …… 笹谷トンネル開通(長さ3,385m、338=ササヤ)

平成10年 …… 山形自動車道開通

平成14年 …… 笹谷トンネル新旧4車線化

(上り3,411m、下り3,286m)

平成23年 …… 二口街道改修

8

山形と仙台の交流

高速バス76便

山形-仙台間の高速バス(山交バス・宮城交通)が、一日に往復76便、65分間で結んでいます。特に、朝は5~10分

おきで、仙山間の貴重な交通手段となっています。 グラフ1のように、1995 (平成7) 年には26便で528,000人の利用でしたが、2004 (平成16) 年に1,127,200人となり、2倍以上の増加です。2007 (平成19) 年には72便1,341,449人で、1日あたり3,675人でした。現在は、早朝や遅晩の便も加わり、利用客数は更に増えています。

山形から仙台へ、仙台から山形への大学生通学や会社通勤が増えているのです。朝夕の南高前のバス停留所は、仙台へ向かう学生だけでなく、 宮城から山形大学や東北芸術工科大学へ通う学生も多くなっています。 また、仙台での買い物や催し物に参加する人たちも利用しています。

バス運賃の安さと街なか停留所、所要時間の短さ、便数の多さや運 行時刻の改善などが、利用客の増大に繋がっています。 また近年、仙山の交流連携として、農水産物の産直市や 味交流、音楽交流などが活発に行われています。JR仙山 線の利用者数や高速道利用の自家用車も増えています。 山形自動車道の2011(平成23)年の一日平均交通量(関 沢~山形蔵王IC間)は19,635台と年々伸びており、山形 と仙台との交流が活発になっていることが伺えます。

笹谷トンネルは 長年の念願

山形と仙台との交通路 は、地図1のように昔は 二口峠や関山峠が利用さ

れて、時代と共に変化してきました。笹谷峠を越える笹谷街道は、冬期間は閉鎖され、山形と仙台を結ぶトンネル開通は、両県民の長年の念願だったのです。

今日のように笹谷トンネルを利用できたのは1981(昭和56)年、国道286号の有料道路としての開通でした。 そして、1998(平成10)年に山形自動車道、2002(平成14)年には新旧トンネル4車線となったのです。

三二知識 37

山形県の形は二人の「横顔」

便利できれいな地図帳やカーナビが普及して、地図は私たちの周りに溢れています。しかし、TVの天気予報やニュースで、都道府県名などの地名が出ても、正確な位置を示すことができません。地図と地名は、暗記するものと思っているからです。

地図や地名と楽しく遊ぶことによって、地図を「見る」ことから「読む」ことで、地図に親しみが 出て好きになります。

例えば、山形県の形は「人の顔」とよく言われれ ますが、右側をよくみるとパーマをかけた首の長い 女性の横顔に見えるでしょう。山形県の形は、西が

> 男性、東が女性の二人 の横顔です。

性の顔と女性と

さて、山形市の形は、何に見えるでしょうか。そして、町名や地名さがしの遊びを通して、地図に親しみましょう。新しい発見が生まれます。



みましょう。

山形と仙台との結

びつきはどうなんだ

ろう。高速バスと交

通路の変化で調べて

96